

第6回F L E Cフォーラム・プレセッション 乳幼児緊急里親 ー実際の運用と課題ー

日本における乳幼児緊急里親の可能性と課題について、大分県での実践、海外の取り組みをもとに考えます

コーディネーター：上鹿渡和宏（早稲田大学人間科学学術院教授、社会的養育研究所所長）

（1）モデル自治体プロジェクト、乳幼児緊急里親の取り組みについて

高橋恵理子（公益財団法人日本財団公益事業部 部長）

（2）児童相談所としてどう取り組んだか

河野洋子（大分県中央児童相談所 所長）

（3）民間としてどう取り組んだか

柴田智美（NPO法人chields チーフソーシャルワーカー）

（4）モデル事業の評価・検証から

中村豪志（早稲田大学社会的養育研究所 研究助手）

（5）海外における乳幼児里親の取り組みについて

榎村麻子（公益財団法人日本財団公益事業部 子ども支援チーム準チームリーダー）

（6）ディスカッション 登壇者全員

すべての子どもの最善の利益を保障するために
「子どものために」で終わらせず
「子どもとともに」までつなげる
新しい社会的養育システムの実現に必要な
エビデンスとそれに基づく実践展開、施策策定
への支援体制の構築に取り組む

2016年改正児童福祉法に初めて子どもの権利と家庭養育優先原則について示され、**社会的養育体制構築の大変革期**を迎えた。
2020年度から各自治体は5・10年の計画を策定し実践展開。
2022年の法改正を経て**さらなる発展**が期待されている。
2024年度は次期社会的養育推進計画の策定

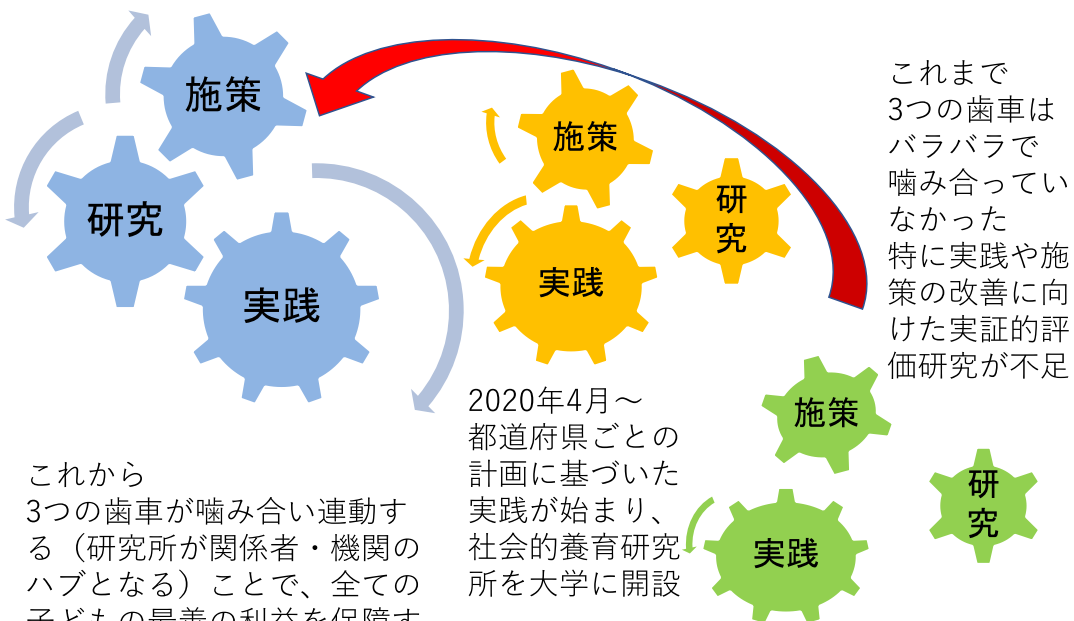
2020年開設、日本財団助成を受け、新たなシステム構築に向けて評価研究、情報提供、プログラム開発導入等に取り組む。

2021/22年度厚生労働省、2023年度こども家庭庁調査研究事業として社会的養育推進計画に関連する調査研究。国、自治体、民間、関連領域の様々な専門家や研究者を**つなげる役割**も担う。

【プロジェクト概要】

1. 社会的養育に関するエビデンス・情報の整理・蓄積と提供
2. 新しい社会的養育実践に必要なプログラム・システム等の開発・導入
3. 家庭養育推進自治体モデルプロジェクト実施のサポート・評価
① 福岡市 ② 山梨県 ③ 大分県
4. 関係者ネットワークの構築と人材育成
5. 子ども当事者の意見聴取、研究所事業への反映
6. 関係者・機関、社会全体に向けての発信・協働の呼びかけ

研究・実践・施策を連動させた社会的養育の構築



日本子ども家庭福祉学会 第25回全国大会

会期 **6月29日[土] ▶ 30日[日]**

会場 **早稲田大学 早稲田キャンパス 国際会議場**
〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-20-14

大会テーマ：
子ども家庭福祉がこどもとともにあるために



第1日目 6月29日（土）
第25回記念式典・シンポジウム
基調講演・パネルディスカッション
津崎哲雄氏（京都府立大学名誉教授）
シンポジウム1「こども家庭ソーシャルワーカー認定資格について」
シンポジウム2「パーマネンシーについて」

第2日目 6月30日（日）
分科会「自由研究発表」
ランチセッション
「民間団体活動推進調査研究事業報告」
高校生・大学生による発表

日本子ども家庭福祉学会HP
<https://www.jscfw.info/>